

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

会員の皆様、

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

香港日本語教育研究会は1978年に創立されて以来、皆様より長年のご協力と多大なご支援を賜り、日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいります。さらに、香港内のみならず、世界各国・地域で日本語教育・日本研究に携わっている団体や方々との学術・教育交流に努めてまいります。

2020年から発生した新型コロナウイルスの感染が終息する兆しの見えていない中、当研究会は関係者の皆様の安全と安心のため、2022年も主にオンライン形式で事業と活動を行ってまいりました。

香港と日本の間の渡航が正常化のめどが立ってないので、2021年に引き続き、3月にオンライン形式で国際交流基金のサクラネットワークの助成により14回目の香港日本語セミナーを開催することにいたしました。オンラインセミナーの素晴らしいところは、場所と時間の制限を超える参加ができることにあります。2022年の香港日本語セミナーのテーマは「多言語環境における年少者の日本語教育」で、講師は早稲田大学大学院の池上摩希子教授と大妻女子大学の柴山真琴教授でいらっしゃいました。香港内だけではなく、海外からも十数か国と地域の参加者がいらっしゃいました。誠に喜ばしいことでした。

6月に、「第17回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」をビデオ審査によって実施し、8月20日に表彰式を挙行了しました。4部門において小中高生が合計22名入賞しました。表彰式の後、学生審査員を務めてくださった日本人の中学生、高校生と入賞された香港の学生との交流会を開き、同年代の香港と日本の若者が和気藹々と楽しい交流ができたことがとても印象的でした。

また、皆様に長年ご協力をいただいている学会誌『日本學刊』の第25号を6月に出版し、香港及び海外の日本語教育・研究関係機関と会員に配送いたしました。

7月と8月に第12回日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の書類審査と面接を実施し、11月に授与式を挙りました。奨学金は高校生3名、副学士課程の学生4名に、プロジェクト賞はそれぞれ13名と6名に授与いたしました。2022年度までに奨学金の受賞者数は高校生計60名、副学士課程の学生計54名で、プロジェクト賞の受賞者はそれぞれ130名と111名でした。

さらに、香港で日本語教育に従事されている方々のご要望に応じるため、国際交流基金海外派遣日本語教育専門家の伊達久美子先生のご協力を仰ぎ、集中日本語教師研修やオンラインワークショップ及び勉強会を実施し、好評を博しました。

7月及び12月には2022年度第1回と第2回の日本語能力試験(N1-N5)を実施し、応募者総数は15,330名となりました。

なお、海外との交流においては、研究会は「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、オンラインによる日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの日本語教育専門家・研究者との交流や情報交換等に努めております。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの影響による異常事態の中で、2022年度における研究会の主要事業や行事が遂行できたことは、何よりも在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、日本関係各団体及び機関のご指導、ご鞭撻並びに会員の皆様方の温かいご支援、ご協力によるものと心より御礼を申し上げます。また、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力にも感謝いたしております。

外国語学習が異文化理解と世界平和に貢献できると思っております。今後も微力ではありますが、日本語教育の普及と促進が一層繰り広げられますことに尽力し、世界各国・地域との学術及び教育交流によって日本語教育の更なる促進と振興に寄与できましたら幸いです。皆様とポストコロナにおける日本語教育の新たな可能性を探究していけたらと心から願っているばかりであります。

引き続き、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2022年度(2022年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 2021年9月25日～2022年5月21日、2021-22年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 1月9日、第13回総会を開催し、2021-23年度理事選挙の9名の候補者が全員無投票で当選しました。
- 3月19日及び20日、日本国際交流基金さくらネットワーク助成により、オンラインにて「多言語環境における年少者の日本語教育」の講演会及びワークショップを主催しました。

【講演会】

演題Ⅰ：「年少者日本語教育における「書く」活動の展開ーリテラシーを意識した実践を考えるー」

講師：池上 摩希子先生（早稲田大学 大学院日本語教育研究科 教授）

演題Ⅱ：「日本語を継承語として学ぶ児童の書く力の発達過程ードイツ語-日本語バイリンガル児の縦断的的作文調査の結果からー」

講師：柴山 真琴先生（大妻女子大学 家政学部ライブデザイン学科 教授）

【ワークショップ】

演題Ⅰ：「多言語環境で育つ子どもの力を生かすために何ができるか「言語ポートレート活動」の実践からー」

講師：池上 摩希子先生（早稲田大学 大学院日本語教育研究科 教授）

演題Ⅱ：「子どもの日本語の育ちを包括的に捉えるための研究法ー独日国際児の事例研究からー」

講師：柴山 真琴先生（大妻女子大学 家政学部ライブデザイン学科 教授）

- 6月18日、新型コロナウイルス感染を予防するため、ビデオ審査によって「第17回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催しました。8月20日に表彰式を挙行了しました。
- 6月、『日本學刊』第25号を出版し、会員に郵送し、香港及び海外の日本語関係機関に送付しました。
- 7月3日、香港・マカオで2022年第1回日本語能力試験（N1～N5）を実施し、応募者数は7100名でした。
- 7月9日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 8月27日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究プロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 2022年9月24日～2023年5月20日、2022-23年度集中日本語教師研修を開催しました。

- 11月19日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究プロジェクト賞の授賞式を行いました。
- 12月4日、香港・マカオで2022年第2回日本語能力試験(N1～N5)を実施し、応募者数は8230名でした。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2022年度は計12回の会議を実施しました。

【2022年1月～12月 月例会発表】

日付	タイトル	話題提供者・発題者
2022.2.12	日本への留学—日本升學講座	高瀬良孝 領事 于 劭贊
2022.7.16	日本語教育のための言語研究とは？ —『目に見えない』言語構造の教え方を中心に	Professor Wesley M. Jacobsen
2022.8.13	『香港における継承日本語教育』 学習者像、学習ニーズ、課題、今後の展望	明石 智子
2022.9.17	日本語教育を知る—教育機関別活動内容の 報告— 第1弾：「年少者教育・中等教育」	小島 衣子 堀内美穂子 Ms. Li Pik Yu Mr. Wong Yau Bong
2022.12.17	日本への進学——日本升學講座	Ms. Ashley Luk Ms. Chan Yin Tung